

子ども医療費の拡大について問う

県内全体の推移を注視し検討したい



宮本 昭一 議員

となっているが、本町も
高校世代まで拡大はでき
ないか。

推移を注視し検討したい

町長

保護者の経済的な負担
軽減策として有意な政策
のひとつとして考えてい
るが、医療費増大を助長
することも懸念されるこ
とから、助成年齢の引き
上げについては、県内全
体の推移を注視しながら
検討していきたい。

対象者は1379人

町長

平成26年度の助成対象
者は1379人で32
78万9000円となっ
ている。

医療費助成の拡大は

宮本議員

曾於市、志布志市は高
校世代までの医療費助成



乳幼児健診

出生状況は

宮本議員

本町の人口も少子高齢
化の中で、減少傾向が続
いており大変気になって
いるところであるが、近
年の出生状況はどのよう
になっているか。

減少傾向にある

町長

本町における過去5
年間の出生状況を見る
と、出生数・出生率とも
に年々少しずつ減少傾向
にある。

出生数の推移状況	出生数(人)
平成22年	100
平成23年	114
平成24年	94
平成25年	103
平成26年	88

出産祝い金創設の考えは

宮本議員

出産祝い金支給につ

いては、曾於市は第3子
以降、一人10万円、志布
志市は第1子、第2子と
も5万円、隣接する東
串良町においても、第1
子3万円、第2子5万円、
第3子以降10万円を支給
している。本町において
も出産祝い金支給制度を
創設すべきと思うがどう
か。

前向きに検討していきたい

町長

現時点では、祝い金よ
りむしろ子育て環境の整
備に力を注いでいる。今
抱えている少子化対策に
対する有効的な施策であ
ること、また近隣市町と
の均衡性を保つたためにも
必要な施策であるという
考え方もあるので、祝い
金支給制度の実施や額に
ついては慎重に協議を重
ね、前向きに検討してい
きたい。

床下浸水など想定したか

宮本議員

今回の豪雨で三文字地
区の床下浸水など、町と

して事前に想定をされて
いたか。また、今後の対
策をどう取り組むのか。

地域の特性に応じた対策に取り組む

町長

今回の大雨は想像を
絶するものであった。そ
のようなことから事前の
想定はできていなかった。
今後は市街地への浸水被
害を軽減するための施設
整備について、地域の特
性に応じた対策に取り組
んでいきたい。

強制排水の整備は

宮本議員

今回のような事態を踏
まえて、強制排水のイン
フラ整備を国・県に働き
かけて整備を急ぐべきだ
と思うがどうか。

応援態勢を取っている

町長

水はけが悪い状況のと
きには、大隅河川国道事
務所が応援態勢を取って
いる状況である。万が一
というときにはそれを

願いたくないといけないと
思っている。

排水系統の分散化は

宮本議員

弁付川の思い切った拡
幅及び調整池等の設置や
持留川のしゅんせつ、側
溝からの雨水の分散が可
能であれば、田原川への
影響を考慮して排水系統
の分散化も検討する必要
があるのではないかと思
うがどうか。

上流部の調整池等を検討

町長

上流部に調整池を作っ
ていこうということで、
県とここ3年位検討して
きたが、実現していない。
水の流れる方向も考慮し、
上流部への調整池等を検
討する。

※しゅんせつ(浚渫)

河川などの水深を深く
するため、水底をさらっ
て土砂などを取り除くこ
と。